



通信

HP 学校だより
R8.1.9
NO.33
文責 伊藤美佳



「丙午(ひのえうま)」 飛躍の年に

1月7日(水)は第3学期始業式でした。元気な豊坂っ子たちが、学校に戻ってきました。

始業式では、今年の干支「丙午(ひのえうま)」について話しました。子どもたちには「力強く物事がうまくいく」「幸運が駆け込む」「万物を成長させる」といった縁起の良い年だと言われていることを伝えました。子どもたち一人一人が、「どうする」と考え、失敗を恐れずに行動して、成長できる年となるように願っています。

子どもたちが、本を読むことで得られることの多さに気づき、読書の楽しさに目覚めてくれることを願って、中日新聞に載っていた『ルドルフとイッパイアッテナ』の著者の斉藤 洋さんのお話について伝えました。その中の「おめでとうは自分でつくる」という斉藤さんの言葉を紹介しました。自分では決められないことやどうしようもないことも多いですが、自分で変えられることもあります。斉藤さんが伝えたかった、子どもたちが、自分で考え行動することで「おめでとう」をつくりあげて豊かな人生を歩んでほしいという願いは、子どもたちにかかわるすべての大人の願いだと思います。学校、家庭、地域と子どもたちの周囲の大人が、仲良く手を取り合って子どもたちの成長を見守っていくことで、豊かな未来へとつながることでしょう。今年もよろしくお願いいたします。

一字に集中して

1月8日(木)は校内書き初め会を行いました。1、2年生は硬筆、3年生以上は毛筆で取り組みます。特に3年生は今年度から毛筆の練習をしているので、縦長の用紙に初チャレンジです。一年の初めに、静寂の中で一字一字を集中して書く子どもたちの姿を見てみると、「凜」という一字が浮かびました。普段は元気いっぱいの子供たちが、真剣に書と向き合っていることに感動を覚えます。子どもたちの力作は、2月の授業参観でご覧いただけると思います。ぜひ、作品を見ながら子どもたちの姿を想像していただきたいと思います。

